

松山ひじき

まつやま農林水産物ブランドに認定

市の島しょ部を中心に生産されている「松山ひじき」が6月6日、まつやま農林水産物ブランドに認定されました。

今回の認定は平成22年8月の「伊台・五明こうげんぶどう」以来6年ぶりです。これで認定品目は全部で9品目になりました。

「松山ひじき」は粒がそろい、しゃきしゃきとした食感が特長。加工工程で徹底した異物除去な



ブランド認定された「松山ひじき」

どを行うなど、細心の注意を払っており、本市は県内産の約28割のシェアを誇っています。

認定に当たりまつやま農林水産物ブランド化推進協議会の胡会長は「瀬戸内の海産物はおいしいと誰もが知っているが、まつやま農林水産物ブランドに認定されている海産物は2つしかなかった。今回の松山ひじきのブランド化を新たなスタートとして松山のおいしい海産物をさらに広めていきたい」と話しました。

松山ひじきは量販店や土産物店で取り扱われているほか、学校給食へ提供されていますが、今回のブランド化によりさらなる消費拡大を目指します。

農林水産課 ☎948 6567・FAX 934 1808

水源の森基金への寄付に感謝状を贈呈

水源かん養林の整備などに活用する水源の森基金へ各団体から相次いで寄付を受けました。

5月9日には松山北ロータリークラブから寄付を受け、同会の野中会長は「松山市と水は切っても切り離せない関係。これからも支援をしていきたい」と話しました。

12日の、国際ソロプチミスト松山からの寄付では、同会の堀内会



松山北ロータリークラブの皆さん



国際ソロプチミスト松山の皆さん



日野見衣子歌謡教室の日野代表

長が「水の大切さを広く伝えながら、今後も継続的に支援したい」との考えを示しました。

6月3日に寄付した日野見衣子歌謡教室の日野代表は「チャリティー活動などを通して、市民に節水への関心を広めていきたい」と語りました。

水資源対策課 ☎948 6947・FAX 934 1886

小説『坊っちゃん』の縁で

東京理科大学と文化交流、科学啓発などに 関する協定を締結しました

夏目漱石の小説『坊っちゃん』の主人公が卒業し、漱石にゆかりの深い東京理科大学と本市

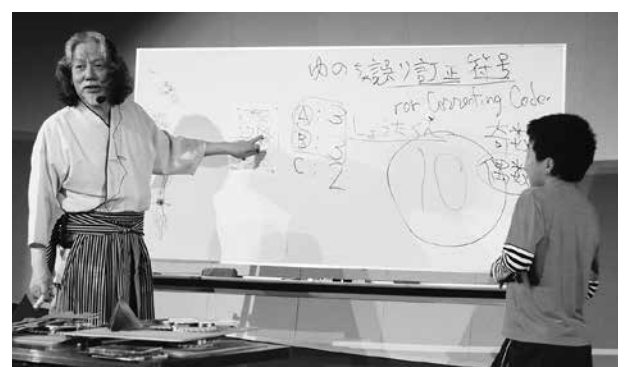


協定を締結した本山理事長（右）と野志市長

が、『坊っちゃん』発表110年、漱石没後100年、来年の漱石生誕150年を記念して、6月2日に連携協定を締結しました。

同大学の本山和夫理事長は「時代を超えて、文化と科学の力で協力し、お互いの魅力を発信していきたい」と、野志市長は「本市の情報発信と文化・科学の向上にお力添えをいただきたい」と話しました。

この日は協定締結を記念し、同大学教授・秋山仁さんによる数学教室も開講されました。秋山さんの「日常生活の役に立つ数学」をテーマにした分かりやすくユーモアあふれる講演に、訪れた親子連れは熱心に聞き



秋山さんによる「坊っちゃん」数学教室の様子

入っていました。この協定締結をきっかけに、講演会の開催など継続的な連携を図っていきます。

東京事務所 ☎03・3262・0974・FAX 03・3239・6996

平成28年度 都市景観大賞 「ロープウェー街・大街道周辺地区」が四国初の 国土交通大臣賞に



国道11号から望む大街道周辺

「都市景観の日」実行委員会（国土交通省後援）が実施する都市景観大賞の都市空間部門で、本市など官民6者が共同で応募した「ロープウェー街・大街道周辺地区」が、四国初の国土交通大臣賞に選ばれました。

官民が連携しながら景観づくりに取り組む、にぎわいを復活させた点や、整備後も継続し、徹底した景観まちづくりに取り組んでいる点などが評価されました。

今後、市民の皆さんや関係者の皆さんと連携しながら、全国に誇れる景観まちづくりを進めていきます。

都市デザイン課 ☎948 6848・FAX 934 1807

7月16日(土) 北条児童センター オープン

北条文化の森にある保健センター北条分室の改修が完了し、児童センターと保健センターの複合施設としてリニューアルオープンします。

北条児童センター

【開館日】7月16日(土)11時～
【開館時間】火～日曜日9～21時▶休館日＝月曜日（小学校の長期休業期間中は除く、祝日の場合は翌平日）・年末年始（12/29～1/3）

【施設】遊戯室、集会室、音楽室、3on3ストリートバスケットコートなど

【対象】児童（18歳未満）とその保護者

保健センター北条分室

7月19日(火)から新施設で業務を開始します▶連絡先＝☎993-0646・FAX993-0659（変更なし）
園子育て支援課☎948-6411・FAX934-1814



50年間で20割の施設 総量削減を 公共施設マネジメント審議会 が市長に答申

公共施設を安全安心に維持・更新するため、平成26年から9回にわたり公共施設マネジメント審議会による審議がされてきました

5月31日、「公共施設再編の進め方」について野志市長に答申しました。答申では「50年間で20割の施設総量削減」削減に向けた今後の手順などが提案され、野志市長は「答申を真摯に受け止め、市民や地域と協力しながら進めていきたい」と述べました。

55・FAX 934 1909
園管財課 ☎948 62